

市民体育館基本設計について

古賀市スポーツ推進審議会
(市民体育館基本設計専門部会)

令和7年5月29日

1. 市民体育館基本設計専門部会のながれ
2. 市民体育館移転の経緯
3. 現在の市民体育館概要
4. 市民体育館の新築移転先
5. 市民体育館のテーマ、コンセプト
6. 次回審議会

1. 市民体育館基本設計専門部会のなぐれ

第1回 【5月】	●市民体育館移転の経緯 ●現在の市民体育館概要 ●市民体育館の移転先 ○市民体育館のテーマ、コンセプト	●：事務局からの説明 ○：審議内容
第2回 【6月】	○市民体育館の機能設備	○：審議内容
第3回 【7月】	○市民体育館の機能設備	○：審議内容
第4回 【8月】	○市民体育館の機能設備 (まとめ)	○：審議内容
第5回 【9月】	●市民体育館の機能設備 (まとめ資料報告)	●：事務局からの説明

2. 市民体育館移転の経緯

2017（平成29）年3月	公共施設等総合管理計画において、「40年間で公共施設の延床面積を現在の8割の規模にすることをめざす」とされる。
2022（令和4）年1月	公共施設等総合管理計画第1期アクションプランにおいて、市民体育館について「機能は他の施設へ移転、建物は廃止を検討する」とされる。
2023（令和5）年5月	建築に必要な広さの土地の確保、有利な補助金が見込めることなどから、都市公園内へ市民体育館を移設することについて検討を開始する。
2023（令和5）年10月	古賀駅周辺開発調査特別委員会において、「JR古賀駅東口周辺道路の整備方針」が報告され、市民体育館、リーパスプラザこが第1駐車場が新道路法線にかかることとなる。
2024（令和6）年3月	第2次スポーツ推進計画2019～2028の中間見直しを策定し、公園において、より多くの市民や団体が気軽に体力づくりやスポーツができる環境の整備について検討を進めると示す。
2024（令和6）年10月	令和7年度当初予算市長メッセージにおいて、市民体育館は既存の公有地である公園に公園施設として新築する方向で検討することが発信される。
2024（令和6）年12月	公共施設マネジメント推進本部会議において、公共施設適正配置マネジメント方針により市民体育館の新築移転の方針を決定する。
2025（令和7）年2月	庁議において、市民体育館の移転先の方針（千鳥ヶ池公園）を決定する。

3. 現在の市民体育館概要

概 要

名 称	市民体育館
所 在	古賀市中央2丁目13-1
構 造	1階建鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
建築面積	1243.27㎡
床面積	1175.60㎡



昭和61年度建築
建築から39年が経過

機能設備

名 称	面 積	単 位	箇所数
玄 関	12.4	㎡	1
ロビー	53.3	㎡	1
廊下	—	㎡	—
管理事務所	31.6	㎡	1
ミーティングルーム	51.0	㎡	1
男子更衣室	9.6	㎡	1
女子更衣室	9.6	㎡	1
倉庫	6.4	㎡	1
男子トイレ	12.3	㎡	1
女子トイレ	13.4	㎡	1
多目的トイレ	6.3	㎡	1
物入	2.9	㎡	1
アリーナ	837.0	㎡	1
トレーニング室	52.0	㎡	1
器具庫 (A)	21.0	㎡	1
器具庫 (B)	21.0	㎡	1

3. 現在の市民体育館概要

その他機能設備

名 称	形状・規格等	箇所数
ポーチ	タイル貼	1
スロープ	コンクリート・吹付タイル	2
自動販売機	ロビー、ポーチ部	2
下足箱	利用者、職員用	3
掲示板	縦1,200×横1,600	2
陳列ケース	ガラス張 縦1,860×横3,200×奥行430	1
郵便受け	ステンレス製 縦95×横400	1
ギャラリー	転落防止柵あり 幅90×長31,000	2

駐車台数

車 両	数 量
一般車両	30台
身障者駐車場	2台

※バス駐車場なし

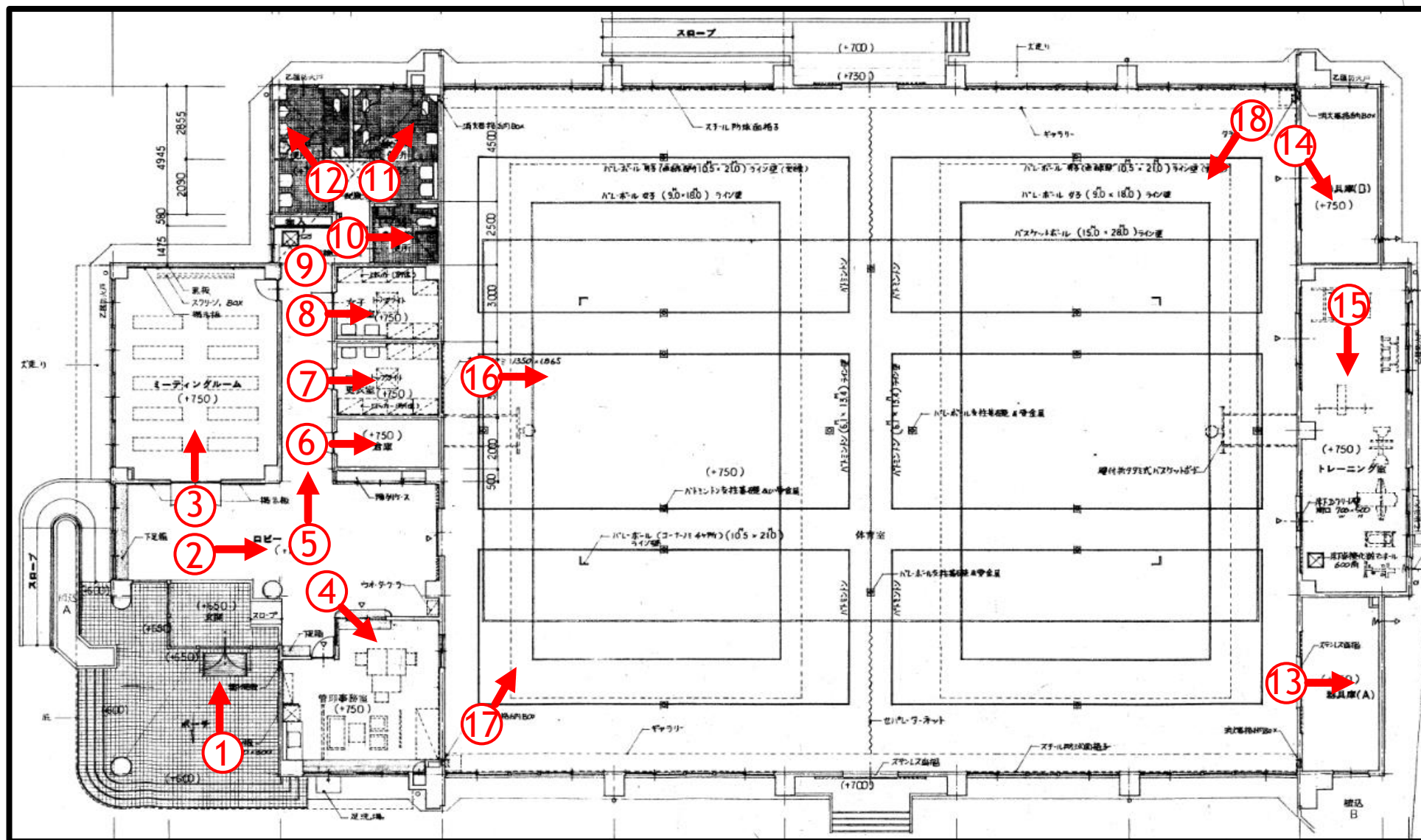
3. 現在の市民体育館概要

主な競技可能面数

名 称	形状・規格等	面数等
バレーボール	半面・全面	2面・1面
バドミントン	－	6面
バスケットボール	－	1面
バウンドテニス	半面	3面
卓球	－	21台

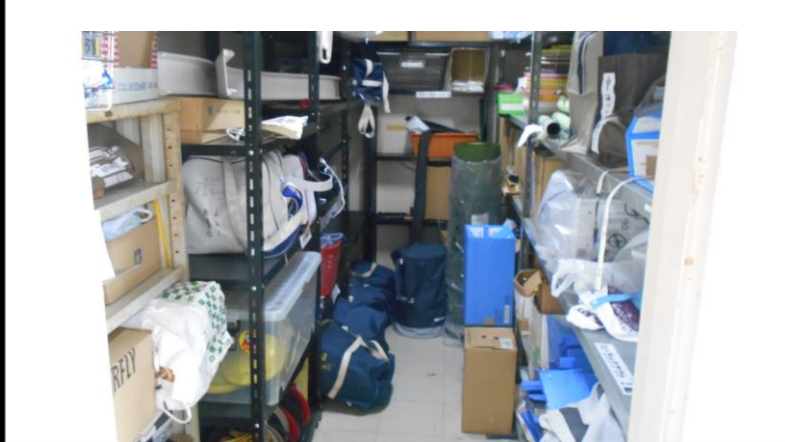
3. 現在の市民体育館概要

(機能設備写真位置図)



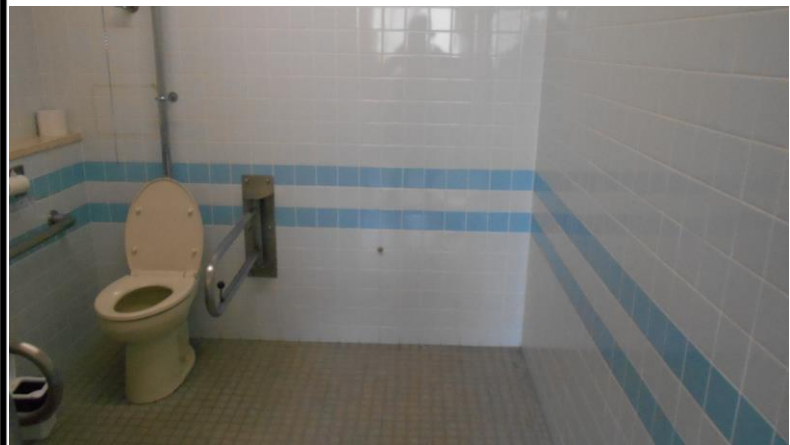
3. 現在の市民体育館概要

(機能設備現地写真1)

①	玄関	②	ロビー	③	ミーティングルーム
					
④	管理事務所	⑤	廊下	⑥	倉庫
					

3. 現在の市民体育館概要

(機能設備現地写真2)

⑦	男子更衣室	⑧	女子更衣室	⑨	物 入
					
⑩	多目的トイレ	⑪	女子トイレ	⑫	男子トイレ
					

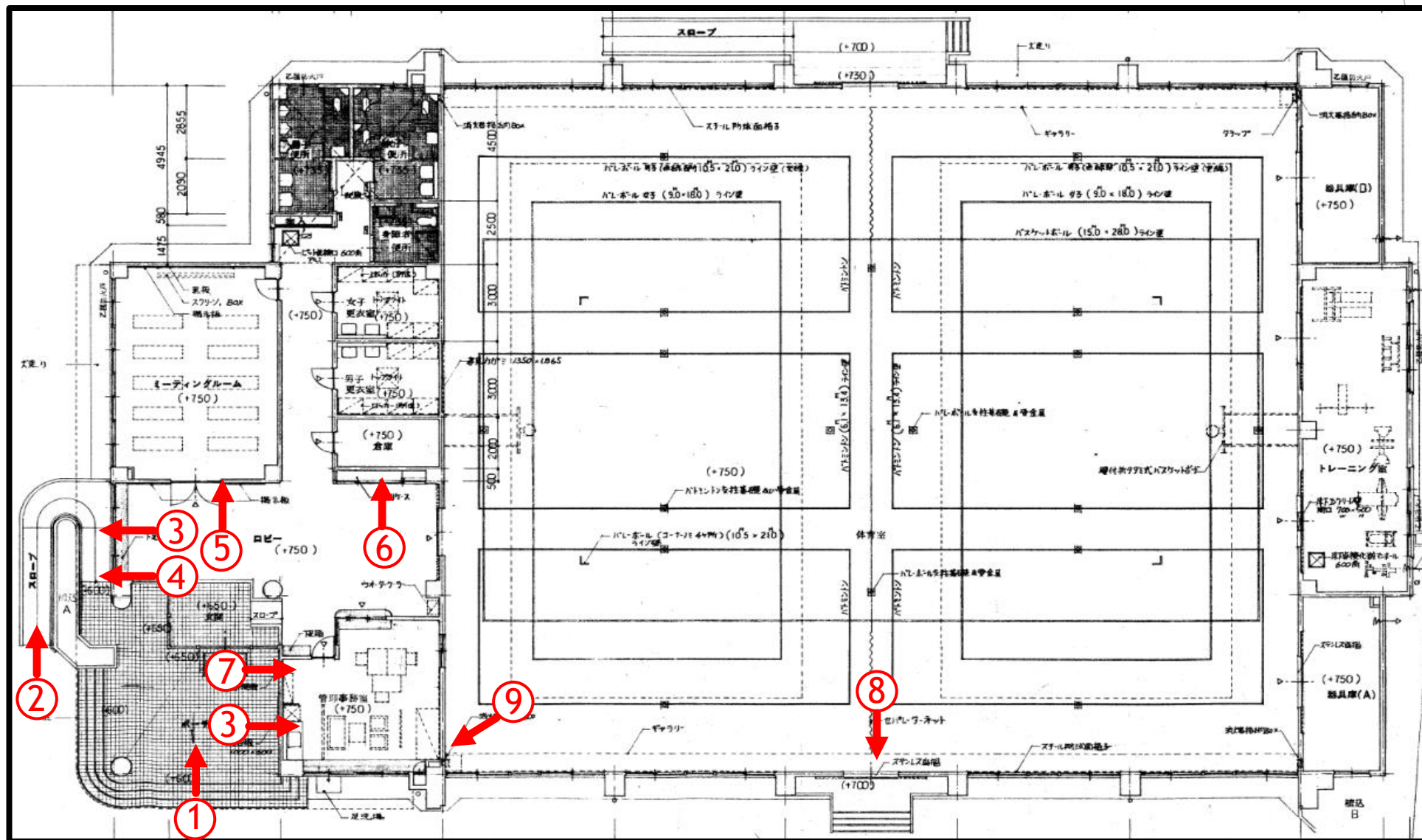
3. 現在の市民体育館概要

(機能設備現地写真3)

⑬	器具庫 (A)	⑭	器具庫 (B)	⑮	トレーニング室
					
⑯	アリーナ	⑰	アリーナ	⑱	アリーナ
					

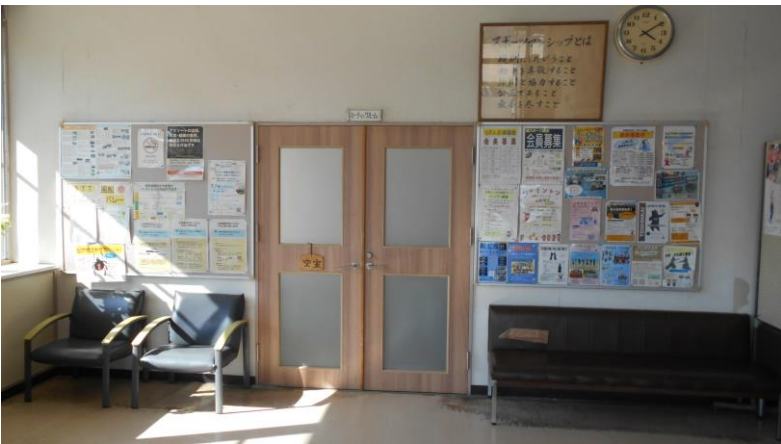
3. 現在の市民体育館概要

(その他機能設備写真位置図)



3. 現在の市民体育館概要

(その他機能設備現地写真1)

①	ポーチ	②	スロープ	③	自動販売機
					
④	下足箱	⑤	掲示板	⑥	陳列ケース
					

3. 現在の市民体育館概要

(その他機能設備現地写真2)

⑦	郵便受け	⑧	ギャラリー	⑨	ギャラリー (階段)
					

4. 市民体育館の新築移転先

古賀市公園再整備基本計画において千鳥ヶ池公園多目的グラウンド内に新築移転されることが決定された。

参考資料：【別紙 7】 のとおり

5. 市民体育館のテーマ、コンセプト

上位・関連計画の方向性

第5次古賀市総合計画基本構想 2022－2031	・気軽に運動やスポーツに取り組める環境づくり ・スポーツ活動を通じた地域での活発な交流の推進 ・障がいのあるなしや年齢といったそれぞれの属性や置かれた状況に関わらず、誰もが地域で安心して暮らしていけるよう、ユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備を推進
第2次古賀市スポーツ推進計画 2019－2028	・子どもたちが楽しく遊ぶことができる機会や場の提供 ・地域や関連団体と連携し、継続した体験活動の実施や家族でスポーツを楽しむ機会を創出するなどの取組を推進 ・日常生活における体を動かす気づきを促し、多様なニーズに合わせたスポーツへのきっかけづくりの推進 ・常に健康を意識できる環境づくりや身近なところでスポーツに触れる機会の提供 ・ライフステージやスポーツ志向に応じた、継続的な運動やスポーツ実施 ・働く世代の運動習慣確立に向けた企業との連携の場づくり ・歩いてん道をはじめ、海や山、川などの自然を活用し、ウォーキングのきっかけづくりや市民が主体的にウォーキングに親しむことができるよう、多分野連携も含め、健康の意識付けになる効果的な取組を推進
J R 古賀駅東口周辺地区 整備基本計画	・『歩きたくなる暮らしたくなる居心地の良いまちづくり』を体現するために、古賀駅周辺の新たな魅力づくりの核となる都市公園を整備します。公園の整備により、古賀市の中心市街地における公園不足を解消するとともに、「古賀駅」から「生涯学習ゾーン」へ安全かつ快適に歩いてアクセスできる環境を構築します。また、既存樹木を積極的に保存・活用し、自然を感じる憩いの公園づくりを推進します
福岡県ワンヘルス推進行動計画	・県内各地の豊かな自然を生かし、トレッキングやサイクリングなどのスポーツ体験を通じたスポーツ振興を図るとともに、自然豊かな環境における県民の運動やスポーツへの参加促進を図り、健康寿命の延伸につなげます

5. 市民体育館のテーマ、コンセプト

『

』

例：『だれもが気軽に集い、スポーツを楽しむ体育館』

テーマ、コンセプトにおいて想定される文言

憩い 空間 機能 設備 地域 運動 スポーツ 健康
効果 障がい バリアフリー 空間 レクリエーション
ユニバーサルデザイン 集約 再編 ふれあい 多様性
機会 意識 志向 意欲 年齢層 習慣 連携 利用
暮らし 居心地 魅力 中心 安全 快適 環境 体験

※ある自治体では体育館新築において下記の6つの基本コンセプトを設定

- (1) 「スポーツをする」体育館
- (2) 「スポーツをみる」体育館
- (3) 「スポーツをささえる」体育館
- (4) 多用途使用に配慮した体育館
- (5) 人や環境にやさしい体育館
- (6) 景観に配慮した体育館

6. 次回審議会

現在の市民体育館概要、新築移転先を参考に新しい市民体育館における具体的な設備機能を審議する。